

Report 技能士を 技 育てる。

宮城県内の企業には、優れた技術を持つ多様な技能士が活躍する。宮城のものづくりを支える匠たちを、企業がどのように育て、技を伝えているのかを紹介する

栗原市で180年以上前から代々畳業を営んできた有限会社只見工業所。職人たちによって長年培われてきた技能が、脈々と受け継がれている。

「畳業界は職人の後継者不足が深刻です。経験がない人でもすぐに仕事ができるように、14年前からコンピュータ式の機械を導入しました。社員として働いてもらいながら、じっくり時間をかけて職人を育てています」と只見直美社長は話す。

職人歴18年の高橋厚さんは、1級畳製作技能士である現会長のもとで技を学んだ。かつてはすべて手作業だった畳製作も機械

化が進んだが、サイズの微調整など職人の感覚や手作業に頼る部分が多く残されていると話す。

3年前、次男の優さんが「家業の伝統を絶やさぬように、技を受け継ぎたい」と仙台から戻り、畳職人の道を歩み始めた。高橋さんの仕事を手伝いながら、2級技能士の取得を目指している。

「認定職業訓練校で学んでもらうことも考えていますが、業務に支障がでないようタイミングを計っています」と只見社長。技能士取得は、お客様の信頼を得られるとともに職人の自信にもつながると話す。

技能士 MEMO

畳製作技能士

畳の製作と敷き込みに必要な知識や技能を持つことを証明する資格。検定試験では、手作業による実技試験が行われる。

認定職業訓練

都道府県知事の認定を受けて事業主や職業訓練法人等が行う職業訓練。修了者は、技能検定など資格取得の際に試験の一部免除や必要な経験年数の短縮等の優遇措置が得られる場合がある。

- 1 畳に縁(へり)をつける「畳製作技能士」の高橋厚さん。「敷き詰めるとき、すぎ間がないように、畳の厚さや素材によって仕上げる寸法を微妙に変えている」と話す
- 2 曲線を主体とした畳、ミニ畳など、新商品の開発・提案にも取り組む
- 3 落ち着いた雰囲気のお店に入ると、畳を使ったテーブルやイスに目が留まる
- 4 8代目の只見直美社長
- 5 畳表を巻く只見優さん



お客様から預かった古着をリメイクする小島恭子さん

伝統を守り 今に伝える 老舗の畳職人

有限会社只見工業所
(栗原市)

天保7年(1836年)創業。長年営んできた畳業のほか、襖や障子、壁紙など内装も手掛ける。伝統技法を継承しながら、現在の洋風建築にマッチした畳や畳素材を使ったマウスパッドなど、新商品の開発・提案にも力を注いでいる

企業情報

所在地: 栗原市若柳字川北片町 54
TEL: 0228-32-3356
FAX: 0228-32-6870
<http://www.tadami.co.jp/>



主な事業: 畳上げ工事、カーテン・ブラインド・ロールスクリーン・クロス・床施工、襖・障子張替え、ミニ畳製造販売
技能士数: 2人(2017年1月現在)
主な技能職種: 畳製作技能士



婦人子供服注文仕立職

オーダーに応じて生地やデザインを決定し、一人で服を作る注文仕立師には、採寸や型紙製作、生地の裁断や仮縫いなど、あらゆる作業において高度な技術が要求される。

40年前から洋装店を営む小島恭子さんは、「本来、洋服は使い捨てではなく、流行や好み、年齢の変化に合わせて、何度も仕立て直して一生楽しむものです」と話す。そのため生地を裁断する際は、将来的に直すことを前提に数センチ余裕を残しておくのだという。

「百貨店、美容室、洋服店……。当時は女性が働くといっても、できる職業は限られていました」

小島さんは、手に職をつけることができ、服の道を選んだ。専門学校を卒業後、仙台市内の洋服店に就職し、紳士服づくり

を6年間学んだ。その後、ミシンメーカーに転職し、洋裁教室の講師を3年間務めた後に独立した。

10年ほど前、当時メキシコに住んでいた長女を訪ねた小島さんは、現地の洋服店で売られていたビスチェドレスに魅せられたという。帰国後に独学で製作に打ち込み、体形にフィットしたドレスに仕上げるため、「ポーン」と呼ばれる骨組みを30本前後入れる独自のスタイルを磨いた。

こうした半世紀にわたる洋服づくりの功績が評価され、昨年厚生労働省から「現代の名工」の栄誉を受けた。「洋服づくりはお客様の人生に深く関わるやりがいのある仕事。これからも心を込めて仕立てていきたいですね」と生涯現役を貫く。

※肩ひもがなく、両肩を全て露出し、胸の上で止めるドレスのこと



1. 仕立てが終わり、持ち主の来店を待つ洋服 2. 裁ちばさみは紳士服を作っていた頃から使い慣れた大きめのものを愛用している 3. ビスチェドレスにボーンを通して形を整えていく。本来ボーンは、数本入れるのが主流だという

問い合わせ
小島洋装店

仙台市青葉区台原 6-1-13
TEL 022-273-3030